

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-170339
 (43)Date of publication of application : 14.06.2002

(51)Int.Cl. G11B 20/12
 G11B 7/004

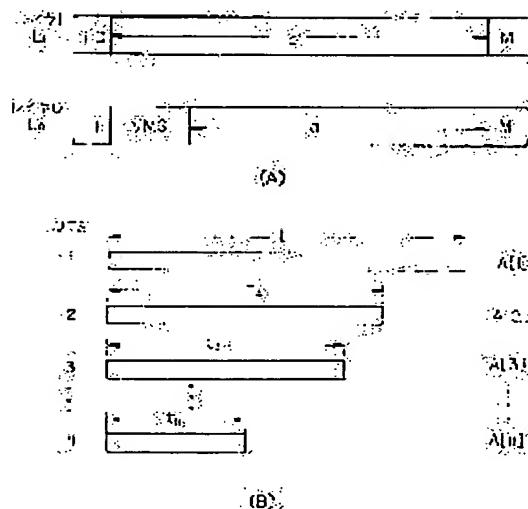
(21)Application number : 2001-371492 (71)Applicant : PIONEER ELECTRONIC CORP
 (22)Date of filing : 19.03.1996 (72)Inventor : YOSHIMURA RYUICHIRO
 TOZAKI AKIHIRO
 SAWABE TAKAO
 MORIYAMA YOSHIAKI
 YAMAMOTO KAORU
 YOSHIO JUNICHI

(54) INFORMATION RECORDING MEDIUM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a recorder for recording information so as to enable seamless reproduction when a layer under reproduction of an optical disk of a two-layered structure during reproducing is changed over and an information recording medium recorded with information by this recorder.

SOLUTION: This information recording medium records the respective data groups to the first recording layer when the total of the data quantity of the respective data groups to be recorded is below a first recording capacity and records the data groups dividedly to the first and second recording layers when the total of the data quantity exceeds the first recording capacity. The first recording layer has a lead-in area and a management information recording region for recording the management information of the data groups and the second recording layer has a lead-out area.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]	26.02.2003
[Date of sending the examiner's decision of rejection]	
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]	
[Date of final disposal for application]	
[Patent number]	3499854
[Date of registration]	05.12.2003
[Number of appeal against examiner's decision]	

[Date of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-170339
(P2002-170339A)

(43)公開日 平成14年6月14日 (2002.6.14)

(51)Int.Cl.⁷
G 1 1 B 20/12
7/004

識別記号

F I
G 1 1 B 20/12
7/004

テマコト^{*}(参考)
5 D 0 4 4
B 5 D 0 9 0

審査請求 未請求 請求項の数1 O.L (全 11 頁)

(21)出願番号 特願2001-371492(P2001-371492)
(62)分割の表示 特願平8-62324の分割
(22)出願日 平成8年3月19日(1996.3.19)

(71)出願人 000005016
バイオニア株式会社
東京都目黒区目黒1丁目4番1号
(72)発明者 吉村 隆一郎
埼玉県所沢市花園4丁目2610番地 バイオニア株式会社所沢工場内
(72)発明者 戸崎 明宏
埼玉県鶴ヶ島市富士見6丁目1番1号 バイオニア株式会社総合研究所内
(72)発明者 澤辺 孝夫
東京都目黒区目黒1丁目4番1号 バイオニア株式会社本社内

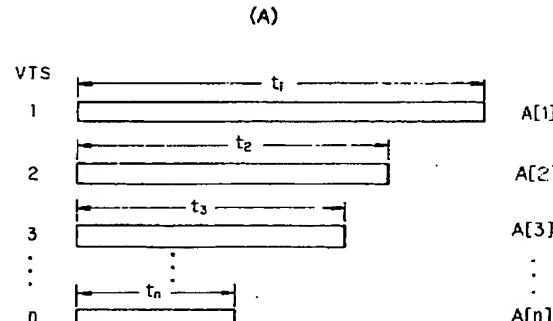
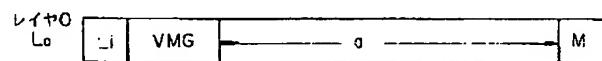
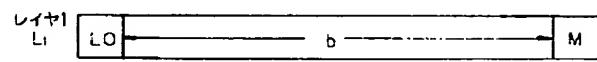
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 情報記録媒体

(57)【要約】

【課題】 再生中に二層構造の光ディスクの再生している層を切り換える際、シームレスな再生が可能なように情報を記録するための記録装置及び当該記録装置により情報が記録された情報記録媒体を提供することにある。

【解決手段】 記録すべき各データグループのデータ量の合計が第1の記録容量以下の場合に各データグループを第1の記録層に記録し、データ量の合計が前記第1の記録容量を超えた場合にデータグループを前記第1及び第2の記録層に振り分けて記録する情報記録媒体において、第1の記録層は、リードインエリアと、データグループの管理情報を記録する管理情報記録領域を備え、第2の記録層は、リードアウトエリアを備える。



(B)

【特許請求の範囲】

【請求項1】記録すべき各データグループデータ量の合計が第1の記録容量以下の場合に各データグループを第1の記録層に記録し、前記データ量の合計が前記第1の記録容量を超えた場合に前記データグループを前記第1及び第2の記録層に振り分けて記録する情報記録媒体において、

前記第1の記録層は、リードインエリアと、前記データグループの管理情報を記録する管理情報記録領域を備え、

前記第2の記録層は、リードアウトエリアを備えている、ことを特徴とする情報記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、DVDに代表される画像、音声等の情報を高密度に記録可能な高密度光ディスク等の情報記録媒体、及び当該情報記録媒体に情報を記録するための記録装置の技術分野に属する。

【0002】

【従来の技術】従来は、画像、音声等の情報を記録された光ディスクとしては、いわゆるLD(Laser Disk)、CD(Compact Disk)等が広く一般化している。

【0003】これらのLD等においては、画像情報や音声情報が、各LD等が有する再生開始位置を基準とした夫々の情報を再生すべき時刻を示す時間情報をと共に記録されている。このため、記録されている情報を記録されている順序で再生する一般的な通常再生の他、例えば、CDにおいては、記録されている複数の曲のうち、聞きたい曲のみを抽出して聞いたり、再生順序をランダムに変えて聞く等の再生が可能である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記LD等においては、表示される画像や再生される音声について視聴者が選択枝をもち、当該視聴者がそれらを選択して視聴する等のいわゆるインタラクティブな変化に富んだ再生はできないという問題点があった。

【0005】すなわち、例えば、LDに記録されている外国映画を視聴する場合に、画面に表示されている字幕で用いられている言語を選択して(例えば、日本語の字幕と原語の字幕を選択して)表示させたり、又はCDに記録されている音楽を聴取する場合に、その音楽の音声を選択する(例えば、英語の歌詞で聞くか或は日本語の歌詞で聞くかを選択する)ことができないのである。

【0006】一方、現在、上記従来のCDに対して、光ディスク自体の大きさを変えずに記憶容量を約10倍に向上させた光ディスクであるDVDについての提案や開発が盛んである。当該DVDでは、記憶容量を増加させるため、記録層が二層のディスク構造が企画されている。

【0007】しかしながら、このような二層構造の光デ

ィスクの場合、再生中に再生している層を切り換える際、光ピックアップの焦点距離を切り換えるとともに、切換後に再生されるべきアドレスをサーチしなければならない。ところが、上記焦点距離の切換及びアドレスのサーチにはある程度の時間を要し、データが連続している場合には映像または音声を途切れなく(シームレスに)再生することは困難である。このような場合に、再生装置のトラックバッファの容量を非常に大きくすること、または再生速度を落とし画質・音質を低下させることによってシームレスな再生を行うことは可能であるが、前者は記録装置の製造コストを増大させることとなり、また後者はユーザにとって好ましくない。

【0008】そこで、本発明の課題は、再生装置のトラックバッファの容量を大きくしたり、再生速度を低下させることなく、再生中に二層構造の光ディスクの再生している層を切り換える際、シームレスな再生が可能なように情報を記録するための記録装置及び当該記録装置により情報が記録された情報記録媒体を提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記課題に鑑み、請求項1に記載の発明は、記録すべき各データグループデータ量の合計が第1の記録容量以下の場合に各データグループを第1の記録層に記録し、データ量の合計が第1の記録容量を超えた場合に前記データグループを前記第1及び第2の記録層に振り分けて記録する情報記録媒体において、第1の記録層は、リードインエリアと、データグループの管理情報を記録する管理情報記録領域を備え、第2の記録層は、リードアウトエリアを有するように構成されている。

【0010】

【発明の実施の形態】次に、本発明に好適な実施の形態について説明する。なお、以下に説明する実施の形態は、上記DVDに対して本発明を適用した実施の形態について説明するものである。

【0011】なお、以下の実施の形態においては、特許請求の範囲における「データグループ」がVTS(Video Title Set)に対応している。

(I) 情報記録媒体の実施の形態

40 始めに、本発明が適用された情報記録媒体の実施の一形態であるDVDの物理的及び論理的な構成並びにその動作について、図1乃至図2を用いて説明する。

【0012】始めに、映像情報及び音声情報のDVDにおける記録フォーマット(物理的記録フォーマット)について、図1を用いて説明する。図1に示すように、実施形態のDVD1は、その最内周部にリードインエリアLIを有すると共にその最外周部にリードアウトエリアLOを有しており、その間に、映像情報及び音声情報が、夫々にID(識別)番号を有する複数のVTS3

(VTS#1乃至VTS#n)に分割されて記憶されて

いる。ここで、VTS (Video Title Set) とは、関連する（音声、サブピクチャのストリーム数や、仕様、対応言語などの属性が同じ）タイトル（映画等の、製作者が視聴者に提示しようとする一つの作品）を一まとめにしたセット（まとまり）であり、より具体的には、例えば、一本の同じ映画について、異なる言語の複数の映画が夫々にタイトルとして記録されたり、又は、同じ映画であっても劇場版と特別版とが夫々別のタイトルとして記憶されたりするものである。また、VTS 3が記録されている領域の先頭には、ビデオマネージャ 2が記録される。このビデオマネージャ 2として記録される情報は、例えば、各タイトルの名前を示すメニュー や、違法コピー防止のための情報、又は夫々のタイトルにアクセスするためのアクセステーブル等、当該DVD 1に記録される映像情報及び音声情報の全体に係わる情報が記録される。

【0013】次に、一のVTS 3は、コントロールデータ 11を先頭として、夫々にID番号を有する複数のVOB 10に分割されて記録されている。ここで、複数のVOB 10により構成されている部分をVOBセット（VOBS）という。このVOBセットは、VTS 3を構成する他のデータであるコントロールデータ 11と、映像情報及び音声情報の実体である複数のVOB 10の部分とを区別するために当該実体部分についてVOBセットとしたものである。

【0014】VTS 3の先頭に記録されるコントロールデータ 11には、複数のセル（セルについては後述する。）を組合せた論理的区分であるプログラムチェインに関する種々の情報であるPGCI (Program Chain Information) 等の情報が記録される。また、各VOB 10には、制御情報の他に映像情報及び音声情報の実体部分（制御情報以外の映像又は音声そのもの）が記録されている。

【0015】更に、一のVOB 10は、夫々にID番号を有する複数のセル 20により構成されている。ここで、一のVOB 10は、複数のセル 20により完結するように構成されており、一のセル 20が二のVOB 10に跨がることはない。

【0016】次に、一のセル 20は、夫々にID番号を有する複数のVOBユニット（VOBU）30により構成されている。ここで、VOBユニット 30とは、映像情報、音声情報及び副映像情報（映画における字幕等の副映像の情報をいう。）の夫々を含む情報単位である。

【0017】そして、一のVOBユニット 30は、ナビパック 41と、映像情報を有するビデオパック 42と、音声情報を有するオーディオパック 43と、副映像情報を有するサブピクチャパック 44とにより構成されている。ここで、ビデオパック 42としては画像データの含まれるパケットが記録され、オーディオパック 43としては音声データの含まれるパケットが記録される。ま

た、サブピクチャパック 44としては副映像としての文字や図形等のグラフィックデータの含まれるパケットが記録される。なお、DVD 1に記録可能な音声は8種類であり、記録可能な副映像の種類は32種類であることが規格上定められている。

【0018】また、一のVOBユニット 30に対応する再生時間（一のナビパック 41と当該一のナビパック 41に隣接するナビパック 41との間に記録されているデータに対応する再生時間）は、0.4秒以上の長さを有するように記録される。さらに、一のVOBユニットにおいてナビパック 41は必ず先頭に存在するが、ビデオパック 42、オーディオパック 43、サブピクチャパック 44の夫々は必ずしも存在する必要はなく、存在する場合であってもその数及び順序は任意である。

【0019】最後に、ナビパック 41は、表示させたい映像や音声等を検索するための検索情報（具体的には、当該表示させたい映像や音声等が記録されているDVD 1上のアドレス等）であるDSI (Data Search Information) パケット 51と、DSI パケット 51に基づいて検索してきた映像や音声等を表示する際の表示制御に関する情報であるPCI (Presentation Control Information) パケット 50とにより構成され、更に、一のVOBUに含まれる全てのビデオデータは、1個以上のGOP (Group Of Picture) 52により構成されている。なお、PCI パケット 50には、視聴者によって選択される選択項目に対してその項目が選択されたときの表示や動作を定義したハイライト情報が含まれている。ハイライト情報によって例えば視聴者が選択すべき項目を表した画像（いわゆるメニュー画面）における、選択された項目に対する画面表示の変化や変化すべき表示位置及び選択した項目に対応するコマンド（選択された項目に対応して実行される命令）の設定が行われる。

【0020】ここで、メニュー画面を構成して表示するために必要な、枠、選択ボタン等を構成して表示するための画像情報は、上記の副映像情報であるサブピクチャパック 44に記録される。

【0021】更に、上記GOP 52は、本実施の形態におけるDVD 1に画像情報を記録する際に採用されている画像圧縮方式であるMPEG 2 (Moving Picture Experts Group 2) 方式の規格において定められている単独で再生可能な最小の画像単位である。

【0022】ここで、MPEG 2方式についてその概要を説明すると、一般に、連続したフレーム画像において、一枚のフレーム画像の前後にあるフレーム画像は、互いに類似し相互関係を有している場合が多い。MPEG 2方式はこの点に着目し、数フレームを隔てて転送される複数のフレーム画像に基づき、当該複数のフレーム画像の間に存在する別のフレーム画像を、原画像の動きベクトル等に基づく補間演算にて生成する方式である。50 この場合、当該別のフレーム画像を記録する場合には、

複数のフレーム画像との間における差分及び動きベクトルに関する情報を記録するだけで、再生時には、それらを参照して上記複数のフレーム画像から予測して当該別のフレーム画像を再生することが可能となる。これにより、画像の圧縮記録が可能となるのである。

【0023】更に、上記G O P 5 2について図2を用いてその概要を説明する。なお図2は、一のG O P 5 2を構成する複数のフレーム画像の例を示している。図2では、一のG O P 5 2が12枚のフレーム画像から構成されている場合(M P E G 2方式では、一のG O P 5 2に含まれるフレーム画像数は一定ではない。)を示しているが、この内、符号「I」で示されるフレーム画像は、Iピクチャ(Intra-coded picture: イントラ符号化画像)と呼ばれ、自らの画像のみで完全なフレーム画像を再生することができるフレーム画像をいう。また、符号「P」で示されるフレーム画像は、Pピクチャ(Predictive-coded picture: 前方予測符号化画像)と呼ばれ、既に復号化されたIピクチャ又は他のPピクチャに基づいて補償再生された予測画像との差を復号化する等して生成する予測画像である。また、符号「B」で示されるフレーム画像は、Bピクチャ(Bidirectionally predictive-coded picture: 両方向予測符号化画像)といい、既に復号化されたIピクチャ又はPピクチャのみでなく、光ディスク等に記録されている時間的に未来のIピクチャ又はPピクチャをも予測に用いて再生される予測画像をいう。図2においては、各ピクチャ間の予測関係(補間関係)を矢印で示している。

【0024】なお、本実施形態におけるD V D 1で用いるM P E G 2方式においては、夫々のG O P 5 2に含まれるデータ量が一定でない可変レート方式を採用している。すなわち、一のG O P 5 2に含まれる各ピクチャが、動きの速い動画に対応しており、各ピクチャ間の相関関係が小さい場合には、各ピクチャを構成するためのデータ量が多くなり、従って、一のG O P 5 2に含まれるデータ量も多くなる。一方、一のG O P 5 2に含まれる各ピクチャが、あまり動きのない動画に対応しており、各ピクチャ間の相関関係が大きい場合には、各ピクチャを構成するためのデータ量も少なくなり、一のG O P 5 2に含まれるデータ量も少なくなることとなる。

【0025】以上説明した図1に示す階層構造の記録フォーマットにおいて、夫々の区分は、製作者がその意図に応じて自在に区分設定をして記録させることができ。これらの区分毎に後述の論理構造に基づいて再生することにより、変化に富んだ種々の再生が可能となるのである。

【0026】次に、図1に示す物理的な区分により記録された情報を組合せた論理的フォーマット(論理構造)について図3を用いて説明する。なお、図3に示す論理構造は、その構造で実際にD V D 1上に情報が記録されているのではなく、図3に示す論理構造で図1に示

す各データ(特にセル20)を組合せて再生するための情報(アクセス情報又は時間情報等)がD V D 1上の、特にコントロールデータ11の中に記録されているものである。

【0027】説明の明確化のために、図3の下位の階層から説明していくと、上記図1において説明した物理構造のうち、複数のセル20を選択して組合せることにより、一のプログラム60が製作者の意図に基づいて論理上構成される。このプログラム60は、後述の再生装置におけるシステムコントローラが、区分を識別してコマンドによってアクセスできる最小の論理的単位でもある。なお、このプログラム60を1個以上まとめたものを視聴者が自由に選択して視聴することができる最小単位として製作者が定義することもでき、この単位をP T T (Part Of Title)という。

【0028】また、一のプログラム60が複数のセル20を選択して論理的に構成されることから、複数のプログラム60で一のセル20を用いる、すなわち、一のセル20を異なった複数のプログラム60において再生させる、いわゆるセル20の使い回しを行うことも可能となっている。

【0029】ここで、一のセル20の番号については、当該セル20を図1に示す物理フォーマットにおいて取り扱う際にはセルID番号として扱われ(図1中、セルID#と示す。)、図3に示す論理フォーマットにおいて取り扱う際には、後に述べるP G C I中の記述順にセル番号として扱われる。

【0030】次に、複数のプログラム60を組合せて一のP G C (Program Chain)61が製作者の意図に基づいて論理上構成される。このP G C 6 1の単位で、前述したP G C I (Program Chain Information)が定義され、当該P G C Iには、夫々のプログラム60を再生する際の各プログラム60毎のセル20の再生順序(この再生順序により、プログラム60毎に固有のプログラム番号が割当てられる。)、夫々のセル20のD V D 1上の記録位置であるアドレス、一のプログラム60における再生すべき先頭セル20の番号、各プログラム60の再生方式[(本実施形態のD V D 1に情報を記録する際には、再生時において、ランダム再生(乱数によるランダム再生であり、同じプログラム60が複数回再生されることがある。)、シャッフル再生(ランダム再生と同様の乱数によるランダム再生であるが、同じプログラム60は一度しか再生されず、同じプログラム60が複数回再生されることはない。)又はループ再生(一つのP G C 6 1を何度も再生すること。)のうち、いずれか一つ、またはループ再生、ランダム再生またはシャッフル再生の組み合わせによる再生方法をP G C 6 1毎に製作者が選択して再生させるようにすることができる。]

及び各種コマンド(P G C 6 1またはセル20毎に製作者が指定可能なコマンド)が含まれている。なお、P G

C I の D V D 1 上の記録位置は、上述の通り、コントロールデータ 1 1 内ではあるが、或いは、ビデオマネージャ 2 内のコントロールデータ（図示せず）内である（図 1 参照）。

【0031】また、一の P G C 6 1 には、上記 P G C I の他に、実体的な画像及び音声等のデータがプログラム 6 0 の組合せとして（換言すれば、セル 2 0 の組合せとして）含まれることとなる。

【0032】更に、一の P G C 6 1 においては、上記のプログラム 6 0 における説明において示したセル 2 0 の使い回し（すなわち、異なる P G C 6 1 により、同一のセル 2 0 を用いること。）も可能である。また、使用するセル 2 0 については、D V D 1 に記憶されている順番にセル 2 0 を再生する方法（連続配置セルの再生）の他に、D V D 1 に記憶されている順序に関係なく再生する（例えば、後に記録されているセル 2 0 を先に再生する等）方法（非連続配置セルの再生）を製作者が選択することができる。

【0033】次に、一又は複数の P G C 6 1 により、一のタイトル 6 2 が論理上構成される。このタイトル 6 2 は、例えば、映画一本に相当する単位であり、製作者が D V D 1 の視聴者に対して提供したい完結した情報である。

【0034】そして、一又は複数のタイトル 6 2 により、一の V T S 6 3 が論理上構成される。この V T S 6 3 に含まれるタイトル 6 2 は、夫々に共通の属性を有するものであり、例えば、一本の同じ映画に対して違う言語の映画が夫々のタイトル 6 2 に相当することとなる。また、図 3 に示す一の V T S 6 3 に相当する情報は、図 1 に示す一の V T S 3 に含まれている情報に対応している。すなわち、D V D 1 には、図 3 に示す論理上の V T S 6 3 内に含まれる全ての情報が一の V T S 3 として記録されていることとなる。

【0035】以上説明した論理フォーマットに基づいて、物理構造において区分された情報を製作者が指定することにより、視聴者が見るべき画像（映画等）が形成されるのである。

【0036】なお、図 1 に示す物理構造の説明においては、内容の理解の容易化のため、複数のセル 2 0 が I D 番号の順に記録されているとして説明したが、実施形態の D V D 1 においては、実際には、一のセル 2 0 が図 4 に示す複数のインターリードユニット I U に分割されて記録される場合がある。

【0037】すなわち、例えば図 4 に示すように、製作者が一の P G C 6 1 A を I D 番号 1、2 及び 4 を有するセル 2 0 により構成し、他の P G C 6 1 B を I D 番号 1、3 及び 4 を有するセル 2 0 により構成する場合を考えると、当該 P G C 6 1 A に基づいて D V D 1 から情報を再生する際には、I D 番号 1、2 及び 4 を有するセル 2 0 のみを再生し、P G C 6 1 B に基づいて D V D 1 か

ら情報を再生する際には、I D 番号 1、3 及び 4 を有するセル 2 0 のみを再生することとなる。この場合に、セル 2 0 が I D 番号毎に分離して記録されていると、例えば、P G C 6 1 A の場合には、I D 番号 2 のセル 2 0 の D V D 1 上の記録位置から I D 番号 4 のセル 2 0 D V D 1 上の記録位置まで、再生のためのピックアップをジャンプする時間が必要となり、後述の再生装置におけるトラックバッファの容量によっては、I D 番号 2 のセル 2 0 と I D 番号 4 のセル 2 0 を連続的に再生すること（以下、これをシームレス再生という。）ができなくなる。

【0038】そこで、図 4 に示す場合には、I D 番号 2 のセル 2 0 と I D 番号 3 のセル 2 0 を、上記トラックバッファにおける入出力処理の速度に対応して、一時的に入力信号の入力が停止しても、出力信号の連続性が損なわれない長さのインターリードユニット I U （すなわち、一のインターリードユニット I U の間だけピックアップがジャンプすることによりトラックバッファへの入力信号が途絶えても、当該トラックバッファからの出力信号を連続的に出力可能な長さのインターリードユニット I U ）に夫々分解して記録し、例えば、P G C 6 1 A に基づいて再生する場合には、I D 番号 2 に対応するセル 2 0 を構成するインターリードユニット I U のみを連続して検出し、再生することが行われる。同様に、P G C 6 1 B に基づいて再生する場合には、I D 番号 3 に対応するセル 2 0 を構成するインターリードユニット I U のみを連続して検出し、再生するのである。なお、インターリードユニット I U の長さは、上述のように、トラックバッファの容量を勘案して決定される他に、トラックジャンプを行うためのスライダモータ等の駆動機構の性能をも加味して決定される場合がある。

【0039】このように、製作者の意図によって、一のセル 2 0 を複数のインターリードユニット I U に分割して記録しておくことにより、飛び飛びの I D 番号のセル 2 0 を含む P G C 6 1 を再生する際にも、トラックバッファから出力される信号は途切れることはなく、従って、視聴者は中断することのない再生画像を視聴することができる。

【0040】なお、上記インターリードユニット I U を形成する際には、一の V O B 1 0 内で完結するように形成され、一のインターリードユニット I U が隣り合う複数の V O B 1 0 に跨がることはない。また、インターリードユニット I U と V O B ユニット 3 0 との関係については、一のインターリードユニット I U 内に一又は複数の V O B ユニット 3 0 が含まれ、一のインターリードユニット I U 内においては一の V O B ユニット 3 0 が完結するように構成されており、一の V O B ユニット 3 0 が分割されて複数のインターリードユニット I U に跨がることはない。

【0041】なお、上記 D V D は、例えば、一本の映画を記録する他に、当該映画に対応する字幕について、複

数種類の言語の字幕をも同一の光ディスクに記録することが可能な記憶容量を有しているので、上記の記録フォーマットは、特にDVD1に対して適用することが効果的である。

(II) 記録装置の実施形態

次に、上述の制御情報、画像情報及び音声情報をDVD1に記録するための記録装置の実施形態について、図5乃至図7を用いて説明する。

【0042】始めに、図5を用いて、実施形態の記録装置の構成及び動作について説明する。図5に示すように、実施形態に係る記録装置S1は、VTR(Video Tape Recorder)70と、メモリ71と、信号処理部72と、ハードディスク装置73と、ハードディスク装置74と、コントローラ75と、多重器76と、変調器77と、マスタリング装置78により構成されている。

【0043】次に、動作を説明する。VTR70には、DVD1に記録すべき音楽情報や映像情報等の素材である記録情報Rが一時的に記録されている。そして、VTR70に一時に記録された記録情報Rは、信号処理部72からの要求により当該信号処理部72に出力される。

【0044】信号処理部72は、VTR70から出力された記録情報RをA/D変換した後、MPEG2方式により圧縮処理し、音楽情報と映像情報を時間軸多重して圧縮多重信号Srとして出力する。その後、出力された圧縮多重信号Srは、ハードディスク装置73に一時に記憶される。

【0045】これらと並行して、メモリ71は、上記記録情報Rを部分記録情報Prに予め区分し、それぞれの部分記録情報Prが記載されたキューシートSTに基づき、予め入力された当該部分記録情報Prに関する内容情報を一時に記憶し、信号処理部72からの要求に基づいて内容情報信号Siとして出力する。

【0046】そして、信号処理部72は、VTR70から出力される上記記録情報Rに対応したタイムコードTt及びメモリ71から出力される内容情報信号Siに基づき、タイムコードTtを参照して上記部分記録情報Prに対応するアクセス情報信号Sacを生成して出力し、当該アクセス情報信号Sacがハードディスク装置74に一時に記憶される。以上の処理が記録情報R全体について実行される。

【0047】記録情報Rの全てについて上記の処理が終了すると、コントローラ75は、ハードディスク装置73から圧縮多重信号Srを読み出すとともにハードディスク装置74からアクセス情報信号Sacを読み出し、これらに基づいて付加情報DAを生成し、ハードディスク装置74に記憶する。これは各種制御信号中に圧縮多重信号Srの生成結果によって内容が定まるものがあるからである。一方、コントローラ75は、上記信号処理部72、ハードディスク装置73及びハードディスク装置

74の夫々の動作の時間管理を行い、当該付加情報DAに対応する付加情報信号Saをハードディスク装置74から読み出して出力するとともに、圧縮多重信号Srと付加情報信号Saを時間軸多重するための情報選択信号Sccを生成して出力する。

【0048】その後、圧縮多重信号Srと付加情報信号Saは、情報選択信号Sccに基づき、多重器76により時間軸多重されて情報付加圧縮多重信号Sapとして出力される。

10 【0049】そして、変調器77は、出力された情報付加圧縮多重信号Sapに対してリードソロモン符号等のエラー訂正コード(ECC)の付加及び8-16変調等の変調を施してディスク記録信号Smを生成し、マスタリング装置78に出力する。

【0050】最後に、マスタリング装置78は、当該ディスク記録信号Smを光ディスクを製造する際のマスター(抜き型)となるスタンパディスクに対して記録する。そして、このスタンパディスクを用いて図示しないレプリケーション装置により、一般に市販されるレプリカディスクとしての光ディスクが製造される。

【0051】次に、図6及び図7を参照して、記録装置S1のシステムコントローラ75の細部動作について説明する。図6に、システムコントローラ75の動作を説明するための図を示し、図7に、システムコントローラ75の動作を説明するためのフローチャートを示す。

【0052】図6(A)は、記録層が二層であるディスク構造を示す。図6(A)において、L0及びL1は、それぞれ記録層を示し、それぞれレイヤ(layer)0及びレイヤ1に対応している。L1はリードインエリアを示し、L0はリードアウトエリアを示している。また、VMGはビデオマネージャの領域を示し、aはレイヤ0の記録容量を示し、bはレイヤ1の記録容量を示し、Mはデータを記録できないミッド領域を示している。

【0053】また、図6(B)は、各VTS毎のデータ量及びレイヤ識別フラグを示している。ここで、ti(i=0, 1, 2 … n)は、i番目のVTSのデータ量を示している。VTSの総数は、n個である。A[i]は、i番目のVTSのレイヤ識別フラグを示し、A[i]=1の時には、i番目のVTSがレイヤ0に記録され、A[i]=0の時には、i番目のVTSがレイヤ1に記録されることを示している。

【0054】次に、図7を参照して、システムコントローラ75の記録情報Rを作成する動作を説明する。図6の説明は、そのまま図7においても適用される。なお、VTSは、データ量の多い順番に予め並べられているものとする。すなわち、ti > ti+1である。

【0055】まず、システムコントローラ75は、i=1(ステップS2)及びA[i]=0(ステップS4)を設定し、iの値がnよりも大きいか否かを判定する(ステップS6)。iの値がnの値よりも大きくなる

(ステップS 6, YES)まで、 i の値を1つインクリメントし(ステップS 8)、上記ステップS 4を繰り返す。ステップS 6がYESの時点で、すべてのレイヤ識別フラグを0にセットしている。すなわち、この時点では、全てのVTSがレイヤ1に記録されるように設定される。

【0056】次に、システムコントローラ75は、 i の値が n の値よりも大きくなると(ステップS 6, YES)、 $B_{sum} = 0$ (ステップS 10)及び $x = 1$ (ステップS 12)を設定し、 t_x の値が a の値よりも大きいか否かを判断する(ステップS 14)。すなわち、ステップS 14において、データ量の多い順にVTSのデータ量 t_x が a の値(レイヤ0の記憶容量)よりも大きいか否かを判断する。ここで、 B_{sum} とは、レイヤ1に記録されるVTSのデータ量の合計である。

【0057】次に、 t_x の値が a の値よりも大きい場合(ステップS 14, YES)、すなわち t_x (x 番目のVTS)がレイヤ0に収容できない場合には、 t_x の値が b の値(レイヤ1の記憶容量)よりも大きいか否かを判断する(ステップS 16)。 t_x の値が b の値(レイヤ1の記憶容量)よりも大きい場合(ステップS 16, YES)には、 t_x (x 番目のVTS)はレイヤ1にも収容できないのであるから、「 x 番目のVTSが記録不能である」ことをディスプレイ(図示せず)に表示する。一方、 t_x の値が b の値(レイヤ1の記憶容量)以下の場合(ステップS 16, NO)、 x 番目のVTSをレイヤ1に記録する事とし、 x の値を1つインクリメントする(ステップS 20)。

【0058】次に、システムコントローラ75は、 t_x の値が a の値(レイヤ0の記憶容量)よりも大きいか否かを判断し(ステップS 22)、 t_x の値が a の値(レイヤ0の記憶容量)よりも大きい場合(ステップS 22, YES)には、上記ステップS 16, S 20及びS 22が繰り返される。一方、 t_x の値が a の値(レイヤ0の記憶容量)以下の場合((ステップS 14, NO)または(ステップS 22, NO))、 $A[x] = 1$ (ステップS 24)及び $a = t_x$ (ステップS 26)が設定される。すなわち、 x 番目のVTSをレイヤ0に記録するものとし、パラメータ α に x 番目のVTSのデータ量が設定される。

【0059】そして、システムコントローラ75は、 x の値を1つインクリメントし(ステップS 28)、 x の値が n の値よりも大きいか否かが判断される(ステップS 30)。 x の値が n の値以下の場合(ステップS 30, NO)には、 $\beta = \alpha + t_x$ が計算され(ステップS 32)、 β の値が a の値(レイヤ0の記憶容量)よりも大きいか否かを判断する(ステップS 34)。ここで、 β とは、レイヤ0に記録されるVTSのデータ量の合計である。

【0060】 β の値が a の値(レイヤ0の記憶容量)よ

りも大きい場合(ステップS 34, YES)には、上記ステップS 28, S 30及びS 32が繰り返される。 β の値が a の値(レイヤ0の記憶容量)以下の場合(ステップS 34, NO)、 α の値を上記 β の値に置き換え(ステップS 36)、 $A[x] = 1$ を設定し(ステップS 38)、上記ステップS 28に戻る。一方、 x の値が n の値よりも大きい場合(ステップS 30, YES)、 $i = 1$ が設定され(ステップS 40)、 $A[i] = 0$ か否かが判断される(ステップS 42)。 $A[i] = 0$ の場合(ステップS 42, YES)には $B_{sum} = B_{sum} + t_i$ が算出され(ステップS 44)、 i の値が1つインクリメントされる(ステップS 46)。 $A[i] = 1$ の場合(ステップS 42, NO)には B_{sum} の値を加算せずに、 i の値を1つインクリメントする(ステップS 46)。その後、システムコントローラ75は、 i の値が n の値よりも大きいか否かを判断する(ステップS 48)。 i の値が n の値以下の場合(ステップS 48, NO)には、上記ステップS 42, S 44, S 46及びS 48が繰り返される。一方、 i の値が n の値よりも大きい場合(ステップS 48, YES)、すなわち、レイヤ1に記録されるすべてのVTSに関してステップS 44を計算し、レイヤ1に記録されるべきVTSのデータ量の合計 B_{sum} を計算後、 $B_{sum} > b$ か否かを判定する(ステップS 50)。 B_{sum} の値が b の値(レイヤ1の記憶容量)よりも大きい場合(ステップS 50, YES)には、レイヤ1に記録されるべきVTSのデータ量の合計 B_{sum} がレイヤ1に収容できないのであるから、「VTSが記録不能」であることをディスプレイ(図示せず)に表示する。 B_{sum} の値が b の値(レイヤ1の記憶容量)以下の場合(ステップS 50, NO)には、レイヤ1に記録されるべきVTSのデータをレイヤ1に記録し、処理を終了する。このようにして、上記記録情報Rが作成される。

【0061】上記構成の情報記録装置によれば、各VTSを最小単位として、映像情報を二層構造の情報記録媒体に記録するように構成しているので、すなわち、各VTSを分割しないで二層構造の情報記録媒体に記録するようになっているので、必ずしも2層間にわたってデータを連続して再生する必要はないため、再生装置のトラックバッファの容量を大きくしたり、再生速度を低下させることなく、二層構造の光ディスクの再生している層を切り換える場合であっても、各データグループをシームレスに再生可能である。

(III) 上記記録装置によって情報が記録された情報記録媒体の実施例

次に、上記情報記録装置によって情報が記録された情報記録媒体の実施例を図8を参照して説明する。図8に示す情報記録媒体では、レイヤ0にビデオマネージャVMGと、VTS 1、及びVTS 2が記録され、レイヤ1にVTS 3、VTS 4及びVTS 5が記録される。なお、

L Iはリードインエリアを示し、L Oはリードアウトエリアを示し、Mはデータを記録できないミッド領域を示している。このように、各V T Sを分割しないで情報が記録されているので、レイヤ0及びレイヤ1にそれぞれ情報が記録されていない領域G A P 1及びG A P 2が設けられる。なお、図8に示す実施例では、V T Sをミッド領域側に集中させているが、各V T Sを分割しない状態で各レイヤの任意の位置に記録することができる。また、各レイヤに複数の情報が記録されていない領域(G A P)を設けることができる。

【0062】このように、図8に示す情報記録媒体によれば、各V T Sを最小単位として、映像情報が二層構造の情報記録媒体に記録されているので、すなわち、各V T Sを分割しないで二層構造の情報記録媒体に記録されているので、必ずしも2層間にわたってデータを連続して再生する必要はないため、再生装置のトラックバッファの容量を大きくしたり、再生速度を低下させることなく、二層構造の光ディスクの再生している層を切り換える場合であっても、各データグループをシームレスに再生可能である。

【0063】

【発明の効果】以上説明したように、請求項1に記載の情報記録媒体によれば、再生装置のトラックバッファの容量を大きくしたり、再生速度を低下させることなく、二層構造の光ディスクの再生している層を切り換える場合であっても、各データグループをシームレスに再生可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】映像情報及び音声情報のD V D上における記録フォーマット(物理的記録フォーマット)を説明する図である。

【図2】1つのG O P 5 2を構成する複数のフレーム画像の例を示す図である。

【図3】図1に示す物理的な区分により記録された情報を組合せた論理的フォーマット(論理構造)を示す図である。

【図4】一のセル20が複数のインターリープドユニットI Uに分割されて記録される場合を説明するための図である。

【図5】制御情報、画像情報及び音声情報をD V D 1に記録するための記録装置のブロック図である。

【図6】システムコントローラ75の動作を説明するための図である。

【図7】システムコントローラ75の動作を説明するためのフローチャートである。

【図8】本発明による情報記録装置によって情報が記録された情報記録媒体のデータ構造を示す図である。

【符号の説明】

1…D V D

2…ビデオマネージャ

3、6 3…V T S

1 0…V O B

10 1 1…コントロールデータ

2 0…セル

3 0…V O B ユニット

4 1…ナビパック

4 2…ビデオデータ

4 3…オーディオデータ

4 4…サブピクチャデータ

5 0…P C I データ

5 1…D S I データ

5 2…G O P

20 6 0…プログラム

6 1、6 1 A、6 1 B…P G C

6 2…タイトル

7 0…V T R

7 1…メモリ

7 2…信号処理部

7 3…ハードディスク装置

7 4…ハードディスク装置

7 5…コントローラ

7 6…多重器

7 7…変調器

7 8…マスタリング装置

S T…キューシート

S r…圧縮多重信号

S i…内容情報信号

S ac…アクセス情報信号

S a…付加情報信号

S cc…情報選択信号

S m…ディスク記録信号

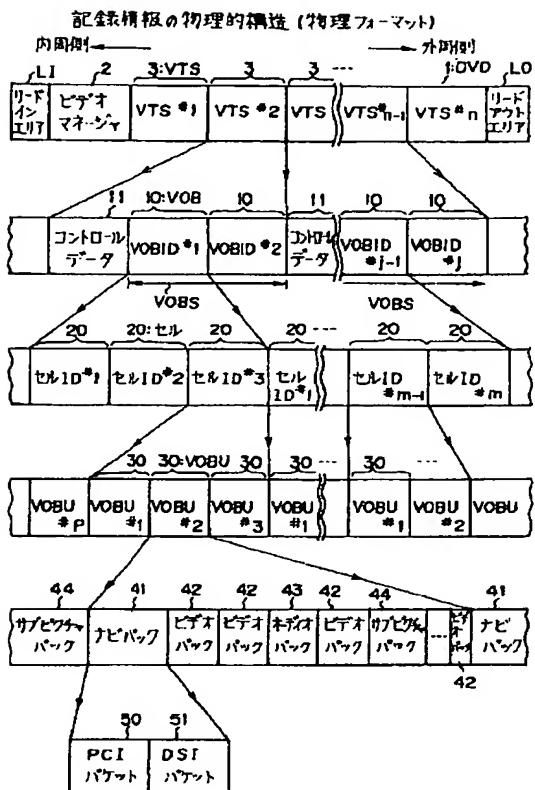
S ap…情報付加圧縮多重信号

T t…タイムコード

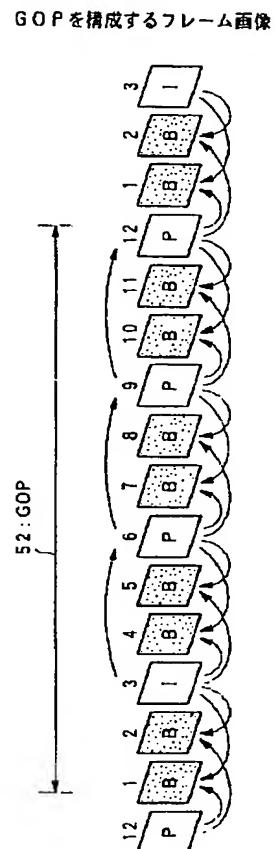
R…記録情報

P r…部分記録情報

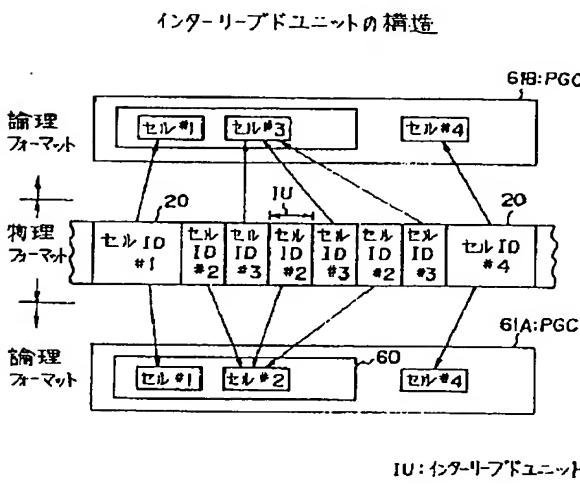
【図1】



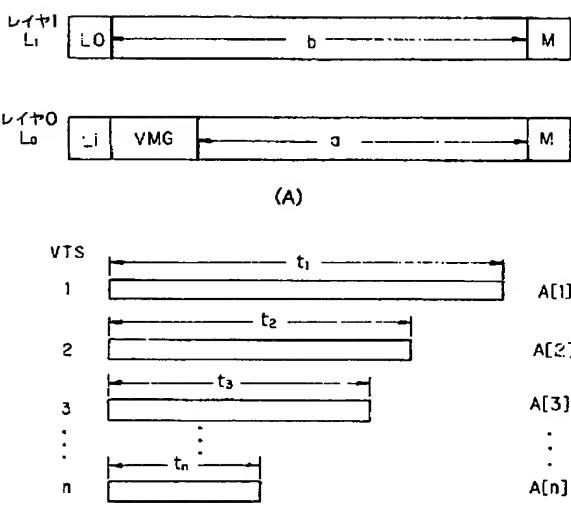
【図2】



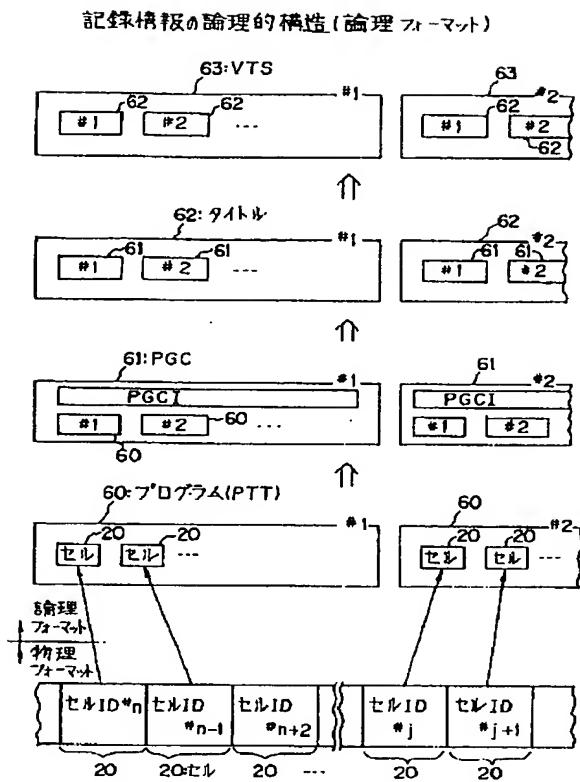
【図4】



【図6】

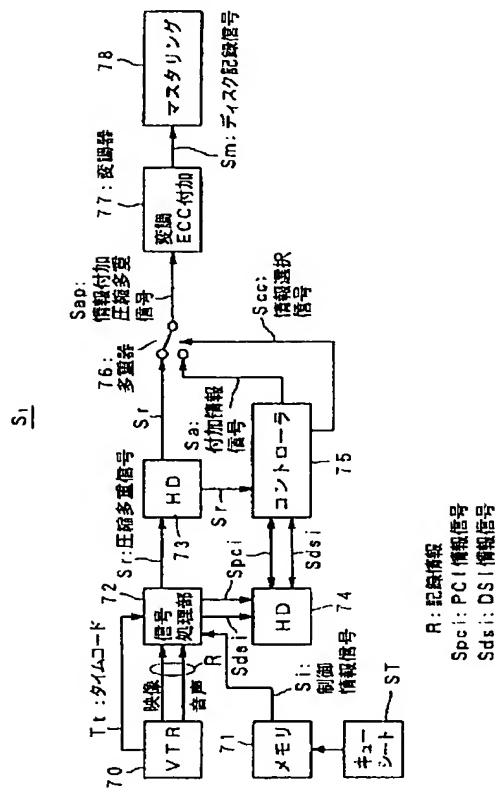


【図3】

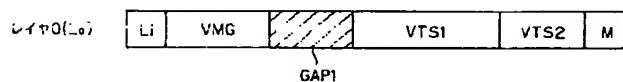
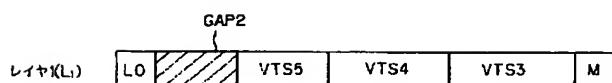


【図5】

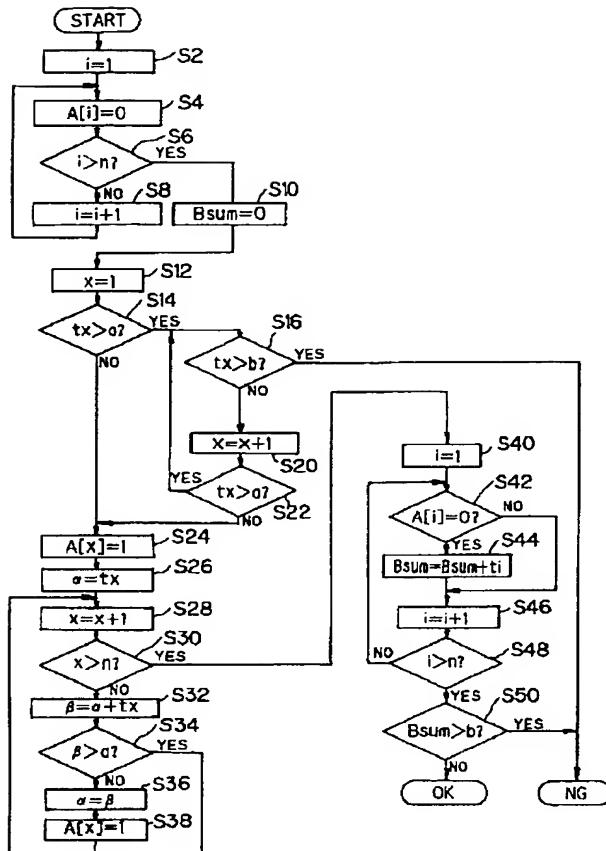
記録装置の概要構成を示すブロック図



【図8】



【図7】



フロントページの続き

(72)発明者 守山 義明

埼玉県鶴ヶ島市富士見6丁目1番1号 パ
イオニア株式会社総合研究所内

(72)発明者 山本 薫

埼玉県鶴ヶ島市富士見6丁目1番1号 パ
イオニア株式会社総合研究所内

(72)発明者 由雄 淳一

埼玉県所沢市花園4丁目2610番地 パイオ
ニア株式会社所沢工場内

F ターム(参考) 5D044 AB05 AB07 BC03 CC06 DE54

DE57 DE58 FG18 GK12

5D090 AA01 BB02 BB12 CC04 CC14

DD05 EE11 GG16 GG21 GG36

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成15年9月12日(2003.9.12)

【公開番号】特開2002-170339(P2002-170339A)

【公開日】平成14年6月14日(2002.6.14)

【年通号数】公開特許公報14-1704

【出願番号】特願2001-371492(P2001-371492)

【国際特許分類第7版】

G11B 20/12

7/004

【F1】

G11B 20/12

7/004 B

【手続補正書】

【提出日】平成15年6月3日(2003.6.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正内容】

【発明の名称】 情報記録媒体、情報記録装置及び
情報記録方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 データグループが記録される第1の記録層及び第2の記録層を備えた情報記録媒体において、リードインエリアを含む前記第1の記録層には、前記データグループの管理情報及び当該データグループが記録されており、

リードアウトエリアを含む前記第2の記録層には、前記データグループが記録されていると共に、

前記リードインエリアは、前記第1の記録層において前記管理情報及び前記データグループが記録されている領域に対して前記情報記録媒体の内周側に形成されており、

前記リードアウトエリアは、前記第2の記録層において前記データグループが記録されている領域に対して前記情報記録媒体の内周側に形成されていることを特徴とする情報記録媒体。

【請求項2】 前記管理情報及び前記データグループが記録されている領域に対して前記情報記録媒体の外周側の前記第1の記録層内、及び前記データグループが記録されている領域に対して前記情報記録媒体の外周側の第2の記録層内の夫々にミッドエリアが形成されているこ

とを特徴とする請求項1に記載の情報記録媒体。

【請求項3】 前記第1の記録層は、前記情報記録媒体の内周側から、前記リードインエリア、前記管理情報が記録されている領域、前記データグループが記録されている領域並びに前記ミッドエリアの順で構成されていることを特徴とする請求項2に記載の情報記録媒体。

【請求項4】 前記第2の記録層は、前記情報記録媒体の外周側から、前記ミッドエリア、前記データグループが記録されている領域並びに前記リードアウトエリアの順で構成されていることを特徴とする請求項2又は3に記載の情報記録媒体。

【請求項5】 前記データグループは、コントロールデータと、映像情報及び音楽情報の少なくともいずれか一方と、から構成していることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1に記載の情報記録媒体。

【請求項6】 データグループと、記録情報の全体に係る管理情報を含む付加情報と、を生成する信号処理手段と、

前記管理情報及び前記データグループを、リードインエリアを含む第1の記録層に記録すると共に、前記データグループを、リードアウトエリアを含む第2の記録層に記録する記録手段であって、前記リードインエリアを前記管理情報及び前記データグループが記録される領域に対して前記情報記録媒体の内周側に形成し、前記リードアウトエリアを前記データグループが記録される領域に対して当該情報記録媒体の内周側に記録する記録手段と、

を備えることを特徴とする情報記録装置。

【請求項7】 前記記録手段は、前記管理情報及び前記データグループが記録されている領域に対して前記情報記録媒体の外周側の前記第1の記録層内、及び前記データグループが記録されている領域に対して前記情報記録媒体の外周側の第2の記録層内の

夫々にミッドエリアを形成することを特徴とする請求項6に記載の情報記録装置。

【請求項8】 前記第1の記録層は、前記情報記録媒体の内周側から、前記リードインエリア、前記管理情報が記録されている領域、前記データグループが記録されている領域並びに前記ミッドエリアの順で構成されることを特徴とする請求項7に記載の情報記録装置。

【請求項9】 前記第2の記録層は、前記情報記録媒体の外周側から、前記ミッドエリア、前記データグループが記録されている領域並びに前記リードアウトエリアの順で構成されていることを特徴とする請求項7又は8に記載の情報記録装置。

【請求項10】 前記データグループは、コントロールデータと、映像情報及び音楽情報の少なくともいずれか一方と、から構成されていることを特徴とする請求項6乃至9のいずれか1に記載の情報記録装置。

【請求項11】 データグループと、記録情報の全体に係る管理情報を含む付加情報と、を生成する信号処理工程と、

前記管理情報及び前記データグループを、リードインエリアを含む第1の記録層に記録すると共に、前記データグループを、リードアウトエリアを含む第2の記録層に記録する記録工程であって、前記リードインエリアを前記管理情報及び前記データグループが記録される領域に対して前記情報記録媒体の内周側に形成し、前記リードアウトエリアを前記データグループが記録される領域に対して当該情報記録媒体の内周側に記録する記録工程と、を含むことを特徴とする情報記録方法。

【請求項12】 前記記録工程においては、前記管理情報及び前記データグループが記録されている領域に対して前記情報記録媒体の外周側の前記第1の記録層内、及び前記データグループが記録されている領域に対して前記情報記録媒体の外周側の第2の記録層内の夫々にミッドエリアを形成することを特徴とする請求項11に記載の情報記録方法。

【請求項13】 前記第1の記録層は、前記情報記録媒体の内周側から、前記リードインエリア、前記管理情報が記録されている領域、前記データグループが記録されている領域並びに前記ミッドエリアの順で構成されることを特徴とする請求項12に記載の情報記録方法。

【請求項14】 前記第2の記録層は、前記情報記録媒体の外周側から、前記ミッドエリア、前記データグループが記録されている領域並びに前記リードアウトエリアの順で構成されていることを特徴とする請求項12又は13に記載の情報記録方法。

【請求項15】 前記データグループは、コントロールデータと、

映像情報及び音楽情報の少なくともいずれか一方と、から構成されていることを特徴とする請求項11乃至14のいずれか1に記載の情報記録方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】上記課題に鑑み、請求項1に記載の発明は、データグループが記録される第1の記録層及び第2の記録層を備えた情報記録媒体において、リードインエリアを含む前記第1の記録層には、前記データグループの管理情報及び当該データグループが記録されており、リードアウトエリアを含む前記第2の記録層には、前記データグループが記録されていると共に、前記リードインエリアは、前記第1の記録層において前記管理情報及び前記データグループが記録されている領域に対して前記情報記録媒体の内周側に形成されており、前記リードアウトエリアは、前記第2の記録層において前記データグループが記録されている領域に対して前記情報記録媒体の内周側に形成されている。上記課題に鑑み、請求項6に記載の発明は、データグループと、記録情報の全体に係る管理情報を含む付加情報と、を生成する信号処理手段と、前記管理情報及び前記データグループを、リードインエリアを含む第1の記録層に記録すると共に、前記データグループを、リードアウトエリアを含む第2の記録層に記録する記録手段であつて、前記リードインエリアを前記管理情報及び前記データグループが記録される領域に対して前記情報記録媒体の内周側に形成し、前記リードアウトエリアを前記データグループが記録される領域に対して当該情報記録媒体の内周側に記録する記録手段と、を備える。上記課題に鑑み、請求項11に記載の発明は、データグループと、記録情報の全体に係る管理情報を含む付加情報と、を生成する信号処理工程と、前記管理情報及び前記データグループを、リードインエリアを含む第1の記録層に記録すると共に、前記データグループを、リードアウトエリアを含む第2の記録層に記録する記録工程であつて、前記リードインエリアを前記管理情報及び前記データグループが記録される領域に対して前記情報記録媒体の内周側に形成し、前記リードアウトエリアを前記データグループが記録される領域に対して当該情報記録媒体の内周側に記録する記録工程と、を含むように構成される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】削除